

令和3年度 事業計画

重点

- 1 防火防災思想普及の徹底
- 2 消防職団員等の教育訓練の強化
- 3 消防職団員の福利厚生の実施
- 4 消防団活性化の促進
- 5 女性消防団員組織の活性化
- 6 四季防災館の管理運営

第1 各種会議（法人の管理・運営事務）

協会事業を適正かつ円滑に推進するため、各種会議の開催及び関係機関が主催する会議に出席する。

- (1) 理事会 5月、9月、1月、3月、その他必要時
- (2) 評議員会 5月、その他必要時
- (3) 執行部役員会 年4回
- (4) 日本消防協会主催会議
 - ア 日本消防協会評議員会 6月17日（木）、令和4年3月4日（金）
 - イ 全日本消防人共済会総代会 6月17日（木）、令和4年3月4日（金）
 - ウ 都道府県消防協会事務局長会議 令和4年2月25日（金）
 - エ 中部地区実務担当者会議 7月、福井県
- (5) 中部7県消防協会長・消防主管課長会議 11月、富山県

第2 防火・防災思想普及事業（公益目的事業 公2）

消防関係組織の育成と県民、事業所等に消防・防災思想の普及・啓発を図り、消防団、消防行政機関、県民が一体となって火災・災害防止に取り組み安心して安全な社会の発展に寄与することを目的で次の事業を実施する。

(1) 秋季、春季火災予防運動の実施

全国及び富山県火災予防運動に呼応して秋季、春季火災予防運動を実施し、県民に火災予防思想の普及啓発を図る。

- ・秋の火災予防運動 11月9日から11月15日
- ・春の火災予防運動 3月20日から3月26日

(2) 県下小学生火災予防研究発表大会

富山県と共催で小学生火災予防研究発表大会を開催し、優秀研究発表校を表彰することにより、小学生から火災予防知識を習得させ、火災予防思想の普及を図る。

開催月日：11月13日（土）場所：教育文化会館 参加校：13校（予定）

(3) 報道機関による防火広報等

秋季、春季火災予防運動期間に防火をPR

(4) 防火ポスターの作成配布等

富山県と共催で小・中学生の防火ポスターを募集し、優秀作品を表彰するとともに最優秀作品を富山県の火災予防ポスターとして印刷・配布し、火災予防の普及啓発に努める。

- ・ 募集予定 11月
- ・ 募集予定 小学生の部38点 中学生の部33点 計71点
- ・ 審査会 富山県防災センター

(5) 住宅用火災警報器設置・消防団協力事業所表示制度導入の促進啓発

(6) 歳末消防警戒活動への助成

歳末における火災予防思想の普及啓発活動に対し助成する。

- ・ 歳末消防警戒実施期間 12月21日から12月31日

(7) 防火推進大会（仮称）の開催

消防職団員参加のもと、火災予防の徹底と防火意識の高揚を図る。

開催月日：10月4日（月）場所：富山県民会館

(8) 少年消防クラブ・幼年消防クラブに対する活動助成

市町村に組織されている少年・幼年消防クラブへ活動費助成を行い少年・幼年期から火災予防の知識を習得させ、火災予防思想の普及を図る。

- ・ 幼年消防クラブ 292クラブ 15,061人（令和2年度）
- ・ 少年消防クラブ 195クラブ 23,304人（令和2年度）

(9) 女性防火クラブ等に対する活動助成

日頃から家庭で火を使う機会の多い女性は、「火災予防に関する知識」を習得することが重要であり、女性防火クラブへ活動費助成を行い育成に努める。

- ・ 88クラブ 30,159人（令和2年度）

第3 表彰事業（公益目的事業 公1）

永年にわたり昼夜を問わず消防活動に従事する消防職団員及びその家族を表彰し、士気の高揚を目的に表彰を行う。

- (1) 日本消防協会定例表彰 令和4年3月 4日（金） ニッショーホール
- (2) 富山県消防協会長表彰 令和4年3月12日（土） 県庁大ホール
- (3) 現場功労者等の表彰 随時

第4 技能振興（訓練・大会）事業（公益目的事業 公1）

操法訓練等を通じて消防の最も基本かつ重要な操法技術の習得に必要な実地訓練を行うとともに、日頃の訓練の成果を競い合うことで消防職団員の士気の高揚と火災

防御技術の向上を図る目的で次の事業を実施する。

(1) 富山県下消防団消防操法大会の開催【※3月理事会で開催中止が決定した】

消防団員に対し、消防機械器具の取扱を習熟させるとともに、消防団員の士気の高揚と火災防御技術の向上を図ることを目的に開催する。

- ・開催月日 7月17日(土)
- ・場 所 富山県広域消防防災センター
- ・参加予定 ポンプ車の部 21チーム 小型ポンプの部 12チーム

(2) 富山県下消防署警防技術交換会への助成

現実的火災現場を想定し、消防職員の機動的かつ実践的な活動訓練を実施することにより、災害時の対応能力の技術的向上と県下各消防本部の警防技術の情報交換を目的に開催される警防技術交換会へ助成する。

- ・開催月日 10月中旬
- ・場 所 富山県広域消防防災センター
- ・参加予定 27チーム

(3) 第28回全国消防操法大会への参加10月29日(金)千葉県市原市【中止】

(4) 県下消防協会支部の消防操法訓練等指導及び助成

(5) 消防職員の警防技術交換会及び救助技術訓練に助成

(6) 高速道路救急救助訓練に助成

第5 指導教養事業(公益目的事業 公1)

協会が主催する研修会参加及び日本消防協会の各種研修会等への派遣を通して、消防団指導者の養成と消防職団員の資質の向上及び関係団体の組織の育成を目的に次の事業を実施する。

(1) 消防団員指導員研修会 11月13日(土)及び同月20日(土)

40名程度 富山県広域消防防災センター

(2) 消防団幹部特別研修会(日消主催)令和4年1月18日(火)～同月21日(金)

(3) 消防団幹部候補中央特別研修会(日消主催)

男性の部 令和4年2月2日(水)～同月4日(金)(参加者3名)

女性の部 令和4年2月16日(水)～同月18日(金)(参加者2名)

(4) 女性消防団員に対する助成

女性消防団員の加入促進を図るとともに、女性消防団員の資質の向上と女性消防団員同士の情報交換を推進するため、富山県女性消防団員連絡協議会の育成並びに女性消防組織の活性化を図る。

- ・第26回全国女性消防団員活性化大会参加及び助成11月9日(火)徳島市
- ・富山県女性消防団員連絡協議会への助成

(5) 県下消防団事務担当者会議 7月下旬

(6) 防災気象講演会開催(共催)11月下旬

- (7) 消防団活性化に対する助成
- (8) 富山県消防長会に対する助成

第6 四季防災館の管理運営（公益目的事業 公2）

四季防災館は、自主防災組織など防災関係者の研修並びに県民の防災に関する知識の普及及び防災意識の高揚を図り、もって安全で安心な地域社会の形成に資する目的で平成24年4月に設置され、当協会が指定管理者として四季防災館の管理運営を行う。

- (1) 指定管理運営期間 令和2年4月1日から令和7年3月31日（5年間）
- (2) 指定管理料 年間45,192千円
- (3) 管理に当たる職員数

職名	勤務形態	人数	担当業務
館長	兼務	(1)	事務局長兼務、総括
業務課長	常勤（嘱託）	1	館長補佐、企画事業
主事	常勤（嘱託）	2	受付、経理、庶務事務
解説員	非常勤（週4～5日勤務）	6	体験・訓練指導、事業補助、講師

(4) 主な業務の内容

- ・施設、設備の維持管理
- ・受付、解説案内、展示
- ・研修会等企画事業実施（(6)実施計画表（次ページ）のとおり）
- ・防災に関する資料収集、保存
- ・施設のPR活動
- ・ホームページの管理、更新
- ・備蓄倉庫の見学受付、案内
- ・その他関連業務

(5) 主な来館者促進事業

- ・イタイイタイ病資料館との連携による無料送迎バス運行
- ・ジュニア防災フェスティバルの実施
- ・5月連休、夏、秋、冬、春休み期間中のイベントの実施
- ・火災予防や防災に関するパネル展示
- ・ふるさと検定や周辺施設と連携したスタンプラリーの実施など
- ・マスコミ（新聞・ラジオ等）でのイベントPR
- ・プロカメラマンによるちびっこ撮影会
- ・夜間開館（災害体験ナイトツアー）：開催日指定 など

(6) 研修会等企画事業の実施計画表

実施月日	研修会等名	定員(名)	実 施 内 容
6月6日(日)	高齢者防災講座Ⅰ (1回目)	30	・災害から自分を守るための知識の習得 ・防火のための日頃の備えと心構え ・災害等体験学習・日頃気を付けたいポイント
6月20日(日)	小学生と父母・祖父母 の防災講座	15組 (30)	・各種災害の基礎知識の習得 ・災害等体験学習 ・消防車、救急車との親子記念撮影 ・館内での防災クイズ
7月27日(火)	ジュニア防災講座 (1回目)	30	・富山県内で発生する恐れのある災害とは？ ・自然災害から身を守る ・正しい火の取り扱いを学ぶ ・災害等体験学習
7月28日(水)	ジュニア防災講座 (2回目)	30	・富山県内で発生する恐れのある災害とは？ ・自然災害から身を守る ・正しい火の取り扱いを学ぶ ・災害等体験学習
8月22日(日) (夏休み)	県内の災害の教訓を学 ぶツアー	15組 (30)	・富山県防災ヘリコプター「とやま」の見学 ・安政の大地震から学ぶ(立山カルデラ砂防博物館) ・常願寺川大場の大転石、巨大水制群めぐり ・車中講座及び防災クイズ ・消防車両及びはしご車試乗 ・災害等体験学習・記念撮影
10月17日(日)	女性のための防災講座 (女性限定)	30	・火災や災害等から身を守るための日頃の備え ・災害等体験学習・備蓄倉庫見学 ・火災予防のポイント他
11月7日(日)	県民防災講座	30	・地震や水害への備えと避難方法の習得 ・自主防災組織に求められる知識の習得 ・災害等体験学習・備蓄倉庫の見学
11月12日(金)	女性防火クラブ研修会	30	・防火避難要領・濃煙熱気施設での避難訓練 ・救命講習・災害等体験
11月28日(日)	高齢者防災講座Ⅰ (2回目)	30	・災害から自分を守るための知識の習得 ・防火のための日頃の備えと心構え ・災害等体験学習・日頃気を付けたいポイント
12月3日(金)	自衛消防隊員研修会	30	・火災防御活動・消火栓ホースの取扱い ・傷病者の搬送方法・災害等体験
12月12日(日)	高齢者防災講座Ⅱ	30	・火災や災害から逃げ遅れを防ぐ日頃の備え ・住宅用火災警報器の維持管理等防火防災の啓発 ・災害等体験学習・災害活動体験談
1月23日(日)	ふるさと災害講座	30	・地震や水害への備えと避難方法の習得 ・富山県で起きた過去の災害の歴史から学ぶ ・災害等体験学習・備蓄倉庫の見学
随 時	救急救命講座		(受講事前予約)

第7 福利厚生事業（公益目的事業 公1、共益事業）

自らの危険を省みず消防活動に従事したことによる殉職者及び在職中の死亡者を悼み、弔慰救済並びに殉職者慰霊祭を次のとおり実施する。

- (1) 消防職団員に対する弔慰救済事業の実施（共益事業）
- (2) 全国消防殉職者慰霊祭への参加（公益目的事業 公1）
(9月9日（木） ニッショーホール）
- (3) 殉職警防団之碑の管理（公益目的事業 公1）

第8 富山県消防防災振興基金事業（公益目的事業 公1、公2）

富山県消防防災振興基金を管理し、その運用益をもって消防防災活動並びに火災予防思想普及・啓発活動のための事業に助成する。

運用益充当事業

事業名	事業費	うち基金運用益充当額
(1) 消防訓練及び操法地区大会事業 公1	4,180,000	1,000,000
(2) 消防職員訓練等事業 公1	850,000	203,000
(3) 少年・幼年消防クラブ組織育成事業 公2	1,000,000	240,000
(4) 女性防火クラブ等組織育成事業 公2	1,000,000	240,000
(5) 消防職員救助技術訓練事業 公1	100,000	24,000
(6) 高速道路救急救助訓練事業 公1	50,000	12,000
計	7,180,000	1,719,000

第9 防災センターの運営管理（収益事業）

防災センターの適切な維持管理と施設設備の効率的な活用に努める。

第10 その他事業（共益事業）

日本消防協会の福祉共済、火災共済、消防個人年金は、時には自らの危険を顧みず消火活動に従事しなければならない場合があり、事故が発生した場合の消防職団員の生活の保障のための福祉制度であり、県下消防職団員の加入促進事務、保険金の支払い事務を日本消防協会から委託を受けて実施する。

- ・福祉共済の加入促進及び手続
- ・消防個人年金の加入促進及び手続
- ・火災共済の加入促進及び手続